

研修終了レポート

第一部 「浜離宮恩賜庭園で鳥に出会い隊」

～武都と呼ばれた江戸の庭で、野の鳥と建築の話を織り込みながら、ガイドの勉強をしましょう～



2026年1月8日（木）と追加9日（金）に、JGAの初のバードウォッチング＆お茶屋建築研修が、浜離宮恩賜庭園において実施されました。講師は、バードウォッチング＆自然が坂東英利子 JGA 正会員、お茶屋建築が溝口義博 JGA 正会員です。8日の参加者は25名（正会員21名、非会員3名、運営委員1名）、9日の参加者は23名（正会員17名、非会員5名、運営委員1名）でした。冬に出会える美しい野鳥を、潮入りの池、2つの鴨場、森、広場で声を聴き、姿を見ました。



お茶屋建築三棟については、時の権力者、徳川将軍が権力と威信を示す建築ではなく、庭園において自身を含めてリラックスできるよう数寄屋風建築にした事を学びました。又日本の木造伝統建築に貢献した大工道具『指金と墨壺』の紹介もありました。



ネイチャー視点から、日本ならではの感性や知識を訪日観光客に伝えていくことに知恵を絞っています。季節の移り変わりを教えてくれる鳥たちから学ぶ季節ごとの自然、そして文化が豊かな日本ならではの話をどう盛り込むか考えています。鳥は国境など関係なく飛んできます。国の違いなんて関係なくなります。東京にいても、自分のまわりで「あっ、あの鳥がやってきている、どんな空の道を通ってきたのだろう」と、これから新トピックを考えてみようかと思っているところです。

ドイツの光学機器メーカー、カールツァイス株式会社様のご協力を得て双眼鏡が無料で貸し出されました。双眼鏡を全員が手にして、野鳥、その他御茶屋の屋根や壁、樹木、葉っぱ、花、庭園景観を、双眼鏡の視野に入れて見て楽しみました。また公益財団法人日本野鳥の会普及部のご協力を得て、無料で身近な野鳥の A3 サイズの折り紙図鑑を入手できました、皆様それを手にして歩きました。

以上

研修発起人・講師

